

エコアクション 21

環境活動レポート

(試行運用期間 2012年10月～2013年3月)



～自然随順～

2013年5月31日発行

西部電機株式会社

1. 組織の概要

(1) 事業所名及び代表者氏名

西部電機株式会社 取締役社長 木村 馥

(2) 本社及び支店営業所所在地

本社	〒811-3193 福岡県古賀市駅東三丁目3番1号	
支店	東京支店	〒136-0071 東京都江東区亀戸二丁目26番11号
	大阪支店	〒530-0001 大阪府大阪市北区梅田三丁目4番5号
営業所	名古屋営業所	〒468-0015 愛知県名古屋市天白区原二丁目3101番地
	広島営業所	〒730-0013 広島市中区八丁堀1番17号
	九州営業所	〒811-3193 福岡県古賀市駅東三丁目3番1号
出張所	札幌出張所	〒060-0033 札幌市中央区北三条東八丁目352番地
サービス センタ	東京サービスセンタ	〒272-0014 千葉県市川市田尻一丁目13番2号
	名古屋サービス	〒468-0015 愛知県名古屋市天白区原二丁目3101番地
	大阪サービスセンタ	〒567-0803 大阪府茨木市中総持寺町1番17号
	九州サービス	〒811-3193 福岡県古賀市駅東三丁目3番1号
工場	本社工場	〒811-3193 福岡県古賀市駅東三丁目3番1号

URL : <http://www.seibudenki.co.jp/>

(3) 環境管理責任者

常務取締役 藤岡 敬正

(4) 担当者連絡先

生産技術部 生産技術課 課長 小粥 市郎
 事務局 権藤 利佳
 TEL 092-941-1525 FAX 092-941-1520
 E-mail : ogai-ic@seibudenki.co.jp

(5) 主要な事業内容

事業部門	主要な商品及び事業	
搬送機械	立体自動倉庫、ケース自動ピッキングシステム、ピースピッキングシステム、FAシステム、搬送・ハンドリングシステム	
産業機械	産機部門	バルブアクチュエータ、ゲート駆動装置
	精密機械部門	超精密・高精密ワイヤ放電加工機、高精密小形NC旋盤、高精密自由形状研削加工機

(6) 事業規模

(2012年度実績:2012年4月～2013年3月)

区分	搬送機械	産業機械		生産技術部	管理部門	合計
		産機部門	精密機械部門			
売上高(百万円)	7,315	7,983		-	-	15,298
従業員数(人) <支店・営業所>	105 <59>	92 <37>	48 <12>	51	29 <6>	325 <114>
敷地面積 69,207 m ²			総従業員数 439 人			

2. 対象範囲(認証・登録範囲)

(1) 対象組織

西部電機株式会社

本社及び工場、九州営業所、九州サービス (従業員数 347 人)

〒 811-3193 福岡県古賀市駅東三丁目3番1号

(2) 対象活動

搬送機械、産業機械、工作機械の製造販売

(3) 対象外事業所

東京支店

大阪支店

名古屋営業所・サービス

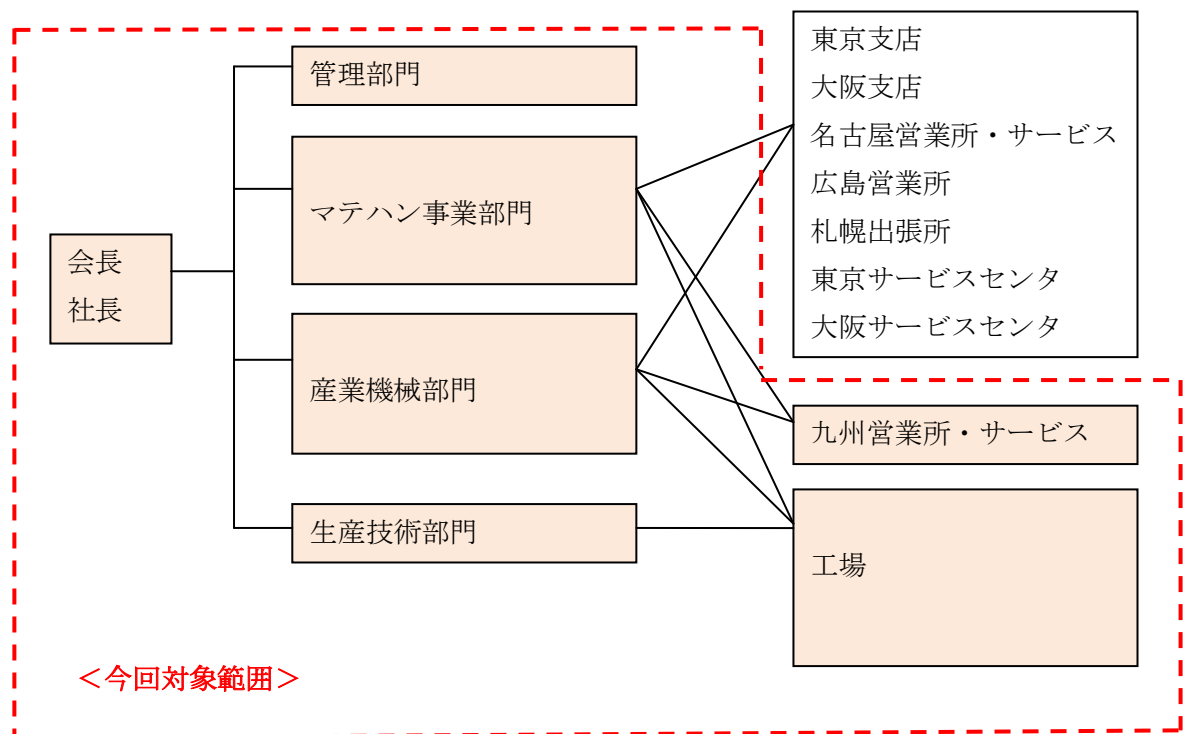
広島営業所

札幌出張所

東京サービスセンタ

大阪サービスセンタ

・上記事業所は、今後4年を目途に段階的に拡大する予定です。



[全社組織図]

3. 環境方針

西部電機株式会社は、自然随順に即した技術の応用で、メカトロニクス製品を提供し、広く社会に貢献しています。今、地球環境の改善が世界共通の重要課題として認識される中、当社も企業活動のあらゆる面で地球環境の保全に努めています。今後も「環境と共存する西部電機」を目標に、積極的かつ継続的に改善活動を図ります。

環境スローガン

「未来に残そう豊かな自然」

基本理念

西部電機株式会社は、自然随順に即した技術の応用と、環境に配慮した企業活動及び社員の行動によって、地球環境の保全と改善を継続的に推進します。

行動指針

1. 企業活動にともなう環境への影響を把握し、環境保護の継続的改善と環境汚染の予防に取り組みます。
2. 環境に関する法規制、条例及び地域との協定などを遵守すると共に、「具体化対策」の策定及び実施により、環境保全の一層の向上に取り組みます。
3. エネルギー消費の削減、特に電力使用量の削減を図り、地球温暖化防止に努めます。
4. 廃棄物の削減と分別回収を図り、再資源化、再使用を推進し、資源の有効活用に努めます。
5. 省エネ、小形軽量化、部品点数の削減等環境に配慮した商品開発を推進します。
6. 化学物質の管理を徹底し、排出や流出などによる環境汚染の防止に努めます。
7. 購買に関しては、環境負荷の少ない資材、設備などグリーン調達を推進します。
8. 環境保護に関する社員教育を実施し、環境保全の意識向上に努めます。
9. 地球社会の一員として、環境保全の責任を果たし、安全で快適な地域社会づくりに貢献します。
10. 資源である水の有効利用を推進するため、節水に努め、水使用量の削減に努めます。

制定日 2012年9月25日

西部電機株式会社
取締役社長
木村 馥

4. 環境目標

- 当社では、2012年10月よりエコアクション21の取組を開始するにあたり、基準年として2011年4月～2012年3月の環境負荷を調査し、それをベースとして2012年度の環境目標及び中長期目標を次のように策定しました。
- 排出量は、売上高による変動が大きいことから、基準年の排出量を売上高で除した値をもとに毎年1%の追加削減目標を設定しました。

事業年度：4月～翌年3月

項 目	単位	基準年	単年度目標		中長期目標			
		2011年度 (実績値)	2012年度 (目標値)		2014年度 (3年後目標)		2016年度 (5年後目標)	
(1) 二酸化炭素排出量の削減	kg-CO ₂ /百万円	205	203	(△1%)	199	(△3%)	195	(△5%)
①電力使用量の削減	kg-CO ₂ /百万円	194	192	(△1%)	188	(△3%)	184	(△5%)
②ガソリン使用量の削減	kg-CO ₂ /百万円	7.74	7.67	(△1%)	7.51	(△3%)	7.36	(△5%)
③その他の化石燃料の削減	kg-CO ₂ /百万円	3.79	3.78	(△1%)	3.71	(△3%)	3.63	(△5%)
(2) 廃棄物排出量の削減								
①一般廃棄物の削減	kg/ 百万円	2.77	2.74	(△1%)	2.68	(△3%)	2.63	(△5%)
②産業廃棄物の削減	kg/ 百万円	7.22	7.14	(△1%)	7.00	(△3%)	6.86	(△5%)
(3) 水使用量の削減	m ³ / 百万円	0.43	0.43	(△1%)	0.42	(△3%)	0.41	(△5%)
(4) 物質使用量(購入量)の削減	kg/ 百万円	10.7	10.6	(△1%)	10.5	(△3%)	10.2	(△5%)
(5) グリーン購入の推進								
①事務用品の非グリーン購入品目数の削減	品目	不明	現状把握		2012年度実績数値から、今後の数値目標を検討			
②製造部品のグリーン調達の推進	件数	不明	現状把握		2012年度実績数値から、今後の数値目標を検討			
(6) 環境に配慮した製品開発とサービスの推進 (環境改善活動(QC、VE、IE)の完結報告)	件数	不明	現状把握		2012年度実績数値から、今後の数値目標を検討			
(7) 化学物質の適正使用・適正管理の徹底	-	届出済	PRTR制度対象物質の適正使用、適正管理に努め、届出を遵守する					

備考)・二酸化炭素排出量における電力の排出係数は、九州電力㈱の2011年度実排出係数(0.525kg-CO₂/kWh)を用いた。
 ・()は基準年に対する削減率を示す。
 ・基準年の2011年度売上高は13,539百万円として、原単位目標値を設定した。

5. 環境目標の実績と環境活動計画の取組結果とその評価、今後の取組

- 今回は2012年度の試行運用期間（2012年10月～2013年3月）における環境への取組状況を整理、評価しました。
- 原単位表記した環境目標については、期間内の売上高で実績値を計算しています。
- 設定した環境目標7項目の達成状況とそれに対応した取組活動の実施状況は、以下のとおりであり、概ね良好な結果となっていました。

(1) 二酸化炭素排出量の削減

<環境目標の達成状況>

環境目標項目	単位	基準年	2012年度試行運用期間 (2012年10月～2013年3月)		目標達成率	達成状況判定		
		2011年度実績値	目標値	実績値				
二酸化炭素排出量の削減	kg-CO ₂ /百万円	205	203	155	131%	○		
1 電力使用量の削減	kg-CO ₂ /百万円	194	192	147	131%	○		
2 ガソリン使用量の削減	kg-CO ₂ /百万円	7.74	7.67	5.23	147%	○		
3 化石燃料の削減	その他の	灯油	kg-CO ₂ /百万円	1.43	1.41	0.00	-	○
		都市ガス	kg-CO ₂ /百万円	-	-	4.70	-	-
	化石燃料	液化石油ガス(LPG)	kg-CO ₂ /百万円	1.10	1.09	0.83	131%	○
		軽油	kg-CO ₂ /百万円	1.29	1.28	0.72	178%	○
	計	kg-CO ₂ /百万円	3.82	3.78	1.55	244%	○	

備考) ・2012年度試行運用期間の生産高(売上高)は、9,974百万円として計算しました。

・その他化石燃料の実績値合計は都市ガスを除く。

・目標達成率は、目標値÷実績値×100で計算しました。

・判定区分 ○：達成できている ×：達成できていない -：判定不能

<環境活動計画の実施状況>

環境活動項目	具体的な取組活動	実施状況判定	
1 電力使用量の削減	日常的節電(人がいないときは照明、PCオフ等)各職場担当者を決め管理し状況を毎月EA21委員会にて報告する。	○	
	気温、状況に対応し冷暖房のデマンドシステムの管理を行う。	○	
2 ガソリン使用量の削減	走行距離、使用量のチェックリストによるデータ収集(毎月)分析し、EA21委員会にて報告する。	○	
3 その他の化石燃料の削減	軽油使用量の削減	走行距離、使用量のチェックリストによるデータ収集(毎月)分析し、EA21委員会にて報告する。	○
	ガス使用量の削減	使用量の把握と分析。新社屋増設に伴い、大幅な増加が見込まれるため、使用量を把握し、分析、報告する。	○

備考) 環境活動実施状況の判定区分 ○：もれなく行われた △：ほぼもれなく行われた ×：行われたとは言えない

<現状評価と今後の取組>

- 数値目標、活動計画ともに目標を達成しており、各職場で管理徹底されています。
- 2013年1月より、工場の新設に伴い、空調設備で都市ガス利用を開始しました。今後は運転状況に関する記録を正確にとり、エネルギー節約の方法を確立していきます。

(2) 廃棄物排出量の削減

① 一般廃棄物排出量の削減

<環境目標の達成状況>

環境目標項目	単位	基準年	2012年度試行運用期間 (2012年10月～2013年3月)		目標 達成率	達成状況 判定	
		2011年度 実績値	目標値	実績値			
1 一般廃棄物 排出量の削減	生ごみ・その他	kg/百万円	1.06	1.05	1.24	85%	×
	飲料缶、ビン	kg/百万円	0.0591	0.0585	0.011	514%	○
	その他不燃ごみ	kg/百万円	0.0074	0.0073	0.004	170%	○
	OA用紙(リサイクル)	kg/百万円	0.070	0.069	0.098	71%	×
	ダンボール(リサイクル)	kg/百万円	1.38	1.37	1.33	103%	○
	新聞・雑誌(リサイクル)	kg/百万円	0.185	0.183	0.043	424%	○
	計	kg/百万円	5.77	2.74	2.73	100%	○

備考)・2012年度試行運用期間の売上高は、9,974百万円として計算しました。

・目標達成率は、目標値÷実績値×100で計算しました。

・判定区分 ○：達成できている ×：達成できていない ー：判定不能

<環境活動計画の実施状況>

環境活動項目	具体的な取組活動	実施状況判定
1 生ごみなど、可燃廃棄物排出量の削減	各職場担当者を決め排出量を管理し、月々の廃棄量をEA21委員会にて報告する。(各職場にて、その月に廃棄したゴミ袋の個数を把握し報告)	△

- 数値目標は達成していますが、細かく見ると生ごみなどの廃棄物のみ達成されていません。今後も、調査を継続します。
- 活動計画に関しては、工場新設に伴う引越しの際、多少廃棄物の分別処理が不十分でした。引き続き、処理ルールの周知、指導を行っていきます。



② 産業廃棄物排出量の削減

<環境目標の達成状況>

環境目標項目	単位	基準年	2012年度試行運用期間 (2012年10月～2013年3月)		目標 達成率	達成状況 判定	
		2011年度 実績値	目標値	実績値			
1 産業廃棄物 排出量の削減	廃プラスチック	kg/百万円	1.63	1.61	1.60	100%	○
	廃油	kg/百万円	2.59	2.57	2.01	128%	○
	木パレット	kg/百万円	3.00	2.97	2.83	105%	○
	産業廃棄物計	kg/百万円	4.22	7.14	6.45	111%	○

備考)・2012年度試行運用期間の売上高は、9,974百万円として計算しました。

・目標達成率は、目標値÷実績値×100で計算しました。

・判定区分 ○：達成できている ×：達成できていない -：判定不能

<環境活動計画の実施状況>

環境活動項目	具体的な取組活動	実施状況 判定
1 廃塗料(廃プラスチック)の削減	塗装仕様書に基づき適正な使用量を計画し、管理する。	○
2 廃油の削減	分別表示を行い、分別を徹底させる。	○
3 廃棄木パレット(リサイクル)の削減	リサイクル品として業者に収集を依頼している木パレットに関し、毎月廃棄量を集計し、EA21委員会に報告する。	○

<現状評価と今後の取組>

- 数値目標を達成しています。活動計画に関しては、対象資材がムダなく使用されているか、管理方法を定期的に確認しています。
- 今後、廃油及び廃塗料の分別方法と、廃棄のルールを明確化し、周知、指導していきます。



(3) 水使用量の削減

<環境目標の達成状況>

環境目標項目	単位	基準年	2012年度試行運用期間 (2012年10月～2013年3月)		目標 達成率	達成状況 判定
		2011年度 実績値	目標値	実績値		
1 水使用量の削減	m ³ /百万円	0.43	0.42	0.33	127%	○

備考) ・ 2012 年度試行運用期間の売上高は、9,974 百万円として計算しました。
 ・ 目標達成率は、目標値÷実績値×100 で計算しました。
 ・ 判定区分 ○：達成できている ×：達成できていない -：判定不能

<環境活動計画の実施状況>

環境活動項目	具体的な取組活動	実施状況 判定
1 日常生活水の削減	節水シールを貼り、節水を意識づける。	○

<現状評価と今後の取組>

- 数値目標は達成しています。 節水シールを貼り、意識づけを行いました。
 今後も、継続して意識づけを行います。

(4) 物質使用量（購入量）の削減

<環境目標の達成状況>

環境目標項目	単位	基準年	2012年度試行運用期間 (2012年10月～2013年3月)		目標 達成率	達成状況 判定	
		2011年度 実績値	目標値	実績値			
1 物質使用量 の削減	木パレット	kg/百万円	4.43	4.39	4.07	108%	○
	ダンボール	kg/百万円	5.39	5.34	3.48	154%	○
	紙	kg/百万円	0.89	0.88	0.53	166%	○
	計	kg/百万円	10.7	10.6	8.07	131%	○

備考) ・ 2012 年度試行運用期間の売上高は、9,974 百万円として計算しました。
 ・ 目標達成率は、目標値÷実績値×100 で計算しました。
 ・ 判定区分 ○：達成できている ×：達成できていない -：判定不能

<環境活動計画の実施状況>

環境活動項目	具体的な取組活動	実施状況 判定
1 木パレット、ダンボール、 紙使用の削減	毎月購入量を統計し、EA21委員会にて報告、廃棄量と合わせて、削減案立案に向け分析する。	○

<現状評価と今後の取組>

- 数値目標は達成しています。 今年度は、記録と分析を活動計画としていましたが、月々の記録で購入量に月毎のバラツキが出るのが分かりました。さらに傾向を見るため、継続調査します。

(5) グリーン購入の推進

① 事務用品の非グリーン購入品目数の削減

<環境目標の達成状況>

環境目標項目	単位	基準年	2012年度試行運用期間 (2012年10月～2013年3月)		目標 達成率	達成状況 判定
		2011年度 実績値	目標値	実績値		
1 事務用品非グリーン購入品目数	品目	不明	現状把握	非グリーン品の 購入件数 延248品目	-	○

<環境活動計画の実施状況>

環境活動項目	具体的な取組活動	実施状況 判定
1 事務用品のグリーン購入	データの収集、EA21委員会にて報告。	○
	上長承認時にチェック。	○

<現状評価と今後の取組>

- 事務用品に関しては、引き続き調査し、承認者にチェックの徹底を働きかけていきます。

② 製造部品のグリーン調達の推進

<環境目標の達成状況>

環境目標項目	単位	基準年	2012年度試行運用期間 (2012年10月～2013年3月)		目標 達成率	達成状況 判定
		2011年度 実績値	目標値	実績値		
1 製造部品のグリーン調達	件	不明	現状把握	3価クロムナットへ の変更数 1件	-	○

<環境活動計画の実施状況>

環境活動項目	具体的な取組活動	実施状況 判定
1 環境に優しいメッキの使用	6価クロム、メッキを、3価クロムメッキへ変更の維持(マテハン事業部で使用のボルトナット類をすべて3価クロムに変更、これを維持、管理する。又、その他の部品に関しても、積極的に3価クロム化を推進し、状況を、毎月EA21委員会にて報告する。	○

<現状評価と今後の取組>

- 活動期間中、新たに調達部品(開度計) 1品目がグリーン化されました。こちらにも合わせて維持管理していきます。

(6) 環境に配慮した製品開発とサービスの推進
(環境改善活動 (QC、VE、IE)の完結報告)

<環境目標の達成状況>

環境目標項目	単位	基準年	2012年度試行運用期間 (2012年10月～2013年3月)		目標 達成率	達成状況 判定
		2011年度 実績値	目標値	実績値		
1 環境改善活動(QC、VE、IE)の完結報告件数	件	不明	現状把握	248件	-	○

<環境活動計画の実施状況>

環境活動項目	具体的な取組活動	実施状況 判定
1 環境配慮製品の開発	EA21委員会で、開発状況について報告する。	○
2 QC、VE、IEに関し、環境活動に有効な改善の件数の把握と活動の推進	完結件数の把握とEA21委員会や各委員会での報告(3か月に一度)及び活動の推進。	○

<現状評価と今後の取組>

- 半期統計と推進を行ってきました。来年度は、きちんと数値目標を立てE A 2 1委員会からも推進をうながしていきたい。

(7) 化学物質の適正使用・適正管理の徹底

<環境目標の達成状況>

- P R T R制度対象物質の適正使用に関して、データ収集し、2013年6月に使用量届出を行う予定。

<環境活動計画の実施状況>

環境活動項目	具体的な取組活動	実施状況 判定
1 化学物質の適正使用、適正管理の徹底	PRTR法に基づく、指定化学物質の管理と、毎年6月に排出量の届出を行う。	準備中

<現状評価と今後の取組>

- 法令に基づき、管理し、毎年6月にきちんと届出を行う。

6. 環境関連法規等の遵守状況の確認及び 評価結果並びに違反訴訟等の有無

- 当社に関する環境関連法規等の遵守事項は、以下のとおりであり、今回の試行運用にあたり、遵守状況を確認した結果、法令違反等はありませんでした。
- また、関連機関や利害関係者からの違反指摘や訴訟等は、過去3年間ありませんでした。

主な環境関連法規	主な遵守事項
廃棄物処理法	マニフェストの発行、保管
フロン回収破壊法	許可業者への委託
化管法(PRTR法)	特定化学物質の排出量を年に1度6月に届出する

7. 代表者による全体評価と見直しの結果

- 社会の環境に対する意識の高まりの中、2012年10月より取組を開始し、E A 2 1 委員会を中心に活動を行ってきました。二酸化炭素排出量などの、数値目標を達成し、活動計画に関しても、確実に行われていることを確認しました。
- 今年度は、開始年度ということもあり、数値記録と分析を中心とした活動を行いました。今後は、項目毎の課題を洗い出すと共に、数値の大幅な増減などの際には速やかに原因を究明し、活動に反映させて下さい。
- 社員全員の意識向上と、事実に基づいた実効性のある改善活動が行われることを期待しています。



E A 2 1 委員会会議風景

これからも、様々な環境活動をこの会議より、発信していきます。